



Polishing

輝きの違いは、技術の違い。

塗装のダメージ(傷)を取り除き、本来の美しさを引きだす。

ボディコーティングの効果を100%生かすために最も重要なのが「ポリッシュ」です。このポリッシュこそが最終的な仕上がりを左右する最も重要な工程。クリア層のダメージを十分に取除かないままコーティングすると、キズや水アカ、さらには劣化した塗装面が邪魔をして、コーティング本来の輝きを実現することができません。また、ポリッシュによってボディを滑らかなコンディションに生まれ変わらせることは、コート剤との密着性を高め、保護効果をより強くすると同時に、最高の艶を演出します。

傷を削り去る「研磨」ではなく、
塗り肌を守る「肌調整」で、塗装本来の美しさを引き出す。



塗装のキズの深さ・シミ・劣化の状態を見極めた上で、どの位の研磨が可能か、また必要なのかを判断し、当社独自の研磨技法でキズを接合させ、キズの深さまで削ることなく、最小限の研磨で「塗装を削らずに、塗装面を平滑にする」磨きを行います。



磨き専用のブラックブース

壁全面をブラックの艶消しにし、一台ごとに仕切られた部屋は、塗装面への壁の映り込みをなくし、自然光による光の流入をカットすることで、キズなどのダメージが最も見やすい環境を作り出しています。傷の見え方は、“磨き職人泣かせ”とも言われていますが、業界切っのこだわり設備「磨き専用ブース」の導入により、究極の輝きを作る空間を実現しました。



塗装状況を見極める為の特殊照明

蛍光灯・メタルハライド・HID・ハロゲンなど、照度や色温度が異なる多種多様な光源をミックスさせ、微細なキズも逃さず磨きあげるための照明を装備しています。また照射する角度まで計算し、死角を作らずにクルマの隅々まで照らすよう配置設計しています。



膜厚計による塗装診断

現在一般的な車両の塗装の厚みは平均100ミクロン程度(コピー用紙1枚分)で、さらにメーカーやボディカラーによっても塗装の厚みが異なるなどとてもデリケート。当店では適切な磨きを行うため、膜厚計で塗装の厚みを測定しながら作業を進めています。

Apec's Polish 4course

アペックス ポリッシュ 4 コース

4種類のポリッシュコースから、ボディコンディションに応じて最適なコースをご提案

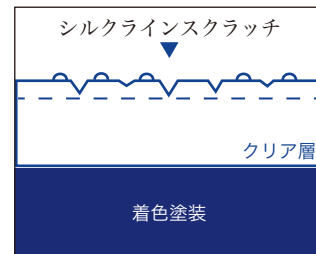
例え新車であっても、工場から出荷された段階で、理想的な塗装コンディションとは言えないばかりでなく、お手元に届くまでの間に、塗装面には様々なダメージが入っているのが現状です。また、月日を経たクルマであれば、なおのこと多くのキズやシミ・汚れなどのダメージを受けています。アペックスでは、ボディコンディションに応じて4つのポリッシングコースの中から、お客様のご要望をお聞きしながら、プロの目から見たご提案をさせていただきます。



ライトポリッシュ

▼塗装ダメージのない新車限定コース

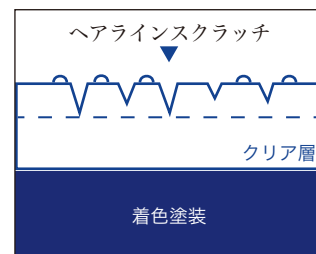
塗装表面上にダメージのない新車を対象とし、塗装面に付着している鉄粉などの粒子状汚染物質の除去や、洗浄による表面の汚れ落としを行った後、コーティングの密着性をアップする為の肌調整の磨きを行います。現状の艶で満足されており、診断した上でも研磨処理によるダメージ除去の必要のない新車限定コースです。新車でも展示車輛や長期在庫車などはミドルポリッシュとなります。



ミドルポリッシュ

▼洗車キズなどのダメージが少ないお車、且つ、 洗車キズなどはあまり気にならない方に

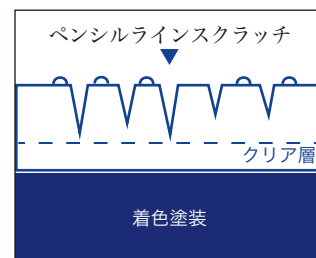
2工程を基本とする研磨処理により、塗装表面に固着した水垢やシルクラインスクラッチと呼ばれるごく浅いキズを研磨除去し、艶をアップします。洗車キズなどのダメージが少なく、且つ洗車キズなどはあまり気にならない方を対象としています。



ハードポリッシュ

▼洗車キズや水ジミなどが目立つお車、又、洗車キズなどが気になる方に

3工程を基本とする研磨処理により、塗装表面の水アカの除去はもちろんのこと、ヘアラインスクラッチと呼ばれる中軽度の深さのキズや、水ジミも除去していきます。新車から数年が経過しているお車や、塗装にキズ・シミの目立つお車、洗車キズが気になる方を対象としています。



スペシャルポリッシュ

▼旧車や細部に渡り究極の美しさを求める方に ～磨きの匠による拘りを追求した施行を行います～

一つ一つのダメージを洗い出し、4～6工程に及ぶ研磨処理により、全てにおいて可能な限りの研磨処理を行います。独自の技法で、むやみにキズを消す磨きを施すのではなく、塗装の膜厚や状態を考慮し、出来る限り塗装の厚みを残しつつダメージを除去していく工程をとっていきます。旧車などの繊細な作業が求められるお車、究極の美しさを求める方を対象としています。

Work Contents	ライトポリッシュ	ミドルポリッシュ	ハードポリッシュ	スペシャルポリッシュ
肌調整磨き：汚れ取り・艶だし	●	●	●	●
研磨（軽）：浅いスリキズ除去		●	●	●
研磨（中）：スリキズ除去			●	●
研磨（粗）：深いスリキズ除去				●
塗り肌（ユズ肌）調整				●
鏡面研磨：超艶だし				●

Apec's Coating menu アペックス コーティングメニュー

4つのグレード、7種類のコーティングの中からライフスタイルに合わせて。

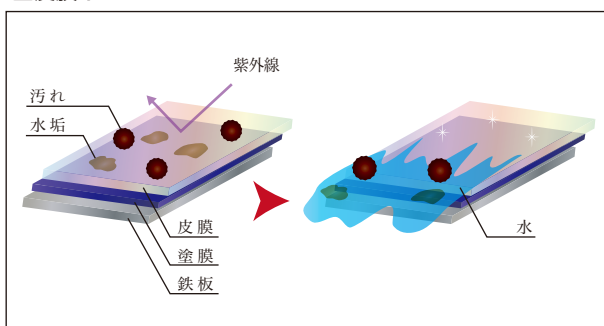
コーティング剤には自己洗浄効果に優れたタイプや防汚効果に特化したタイプなどそれぞれに特徴があり、またコーティング剤の性能も日々進化しております。アペックスではこれらを熟知したプロの立場からお客様に最適と思われるタイプをご提案させていただきます。

コストパフォーマンスに優れたタイプから最新かつ高性能のコーティングまで、アペックスが自信を持ってお勧めできるプランをご用意いたしました。

親水性タイプ



■皮膜イメージ



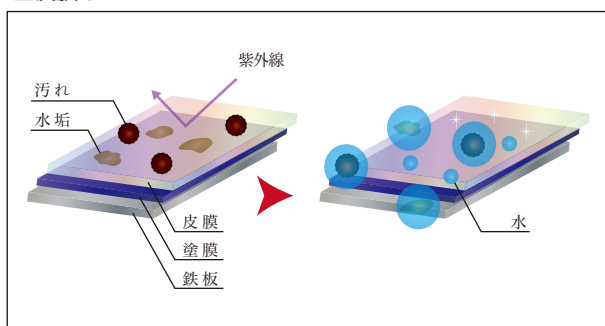
自己洗浄性に優れた親水性コーティング

雨を弾かず 汚れの下に水が入り込むのが、親水皮膜性能を持つガラス系コーティングの特徴です。雨が水膜となり、汚れを浮かせて流れ落とす自己洗浄性があります。水玉を形成しないのでウォータースポットの原因となるレンズ作用が発生せず、水ジミや乾燥痕の付着を防ぐ効果があるため、濃色車のオーナーや屋外駐車場を使用される方、簡単なお手入れでお車をキレイに維持されたい方にお薦めのタイプです。

撥水性タイプ



■皮膜イメージ



防汚性能に優れた撥水性コーティング

水弾きが良いのが撥水性タイプの最大の特徴です。雨が降っても小さな水滴となって飛散するので、防汚性能に優れます。滑りが良いためキズもつきにくく、いつまでも新車のように艶やかな光沢を保てるのが大きな魅力です。水玉を形成するのでこまめな拭き取りが必要となりますが、水弾きや洗車時の拭きとりやすさを重視する方には最適です。屋根付きガレージ保管の方や、頻繁に洗車される方にはお薦めのタイプです。

Value

バリュー

Standard

スタンダード

Premium

プレミアム

SuperPremium

スーパープレミアム

手頃な価格でコーティングしたい！

アペックス・シールドグラス

親水性タイプ

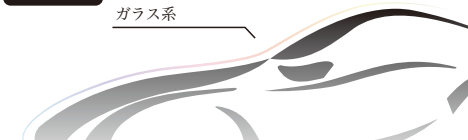
ガラス系

1年サポート



1層タイプ

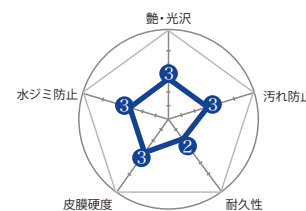
ガラス系



リーズナブルなコーティングで、淡色車・濃色車を問わずあらゆる塗装に適するタイプ。塗装本来の色と輝きを生かしながら、濡れたような艶を演出します。ガラスの素となるケイ素による皮膜が優れた防汚性能を発揮し、愛車の輝きを保護。水切れも良いため、汚れが落ちやすく手入れが簡単です。

《このような方に》

- 手頃な価格でコーティングしたい
- 年に一度はリフレッシュしたい
- 濃色車・淡色車の方



Value

バリュー

Standard

スタンダード

Premium

プレミアム

SuperPremium

スーパープレミアム

簡単なお手入れでお車を維持したい！

アペックス・ハイドログラス

親水性タイプ

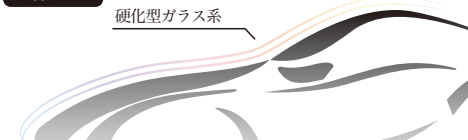
硬化型ガラス系

3年サポート



2層タイプ

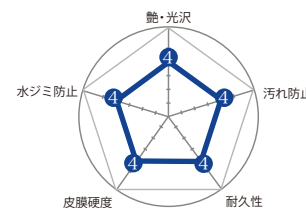
硬化型ガラス系



親水皮膜性能を持つガラス系コーティング。雨や水道水が水膜となり、汚れを浮かして流す自己洗浄機能があります。撥水せず水玉も形成しないので、水ジミの原因となるウォータースポット防止にも効果的。酸性雨や塩害、空気中汚染物質によるダメージに強く、長期間の保護効果が期待できます。

《このような方に》

- 洗車をする機会が少ない
- ウォータースポットが気になる
- 屋外駐車の方
- 濃色車・淡色車の方



Value

バリュー

Standard

スタンダード

Premium

プレミアム

SuperPremium

スーパープレミアム

水玉を形成する撥水タイプ好き！

アペックス・ドロップグラス

撥水性タイプ

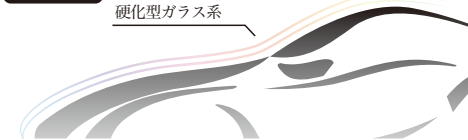
硬化型ガラス系

3年サポート



2層タイプ

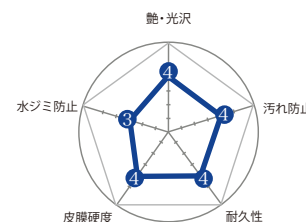
硬化型ガラス系



石英ガラスと同様の構造体を持つ皮膜が塗装と密着し、まさにガラスに覆われたような艶やかな光沢感が得られます。無機化合物により構成される皮膜は優れた耐久性を誇り、撥水性、防汚性、光沢感も長期間維持が可能。水滴が弾がり落ちるほどの高い撥水性により、洗車時の拭き取りも簡単かつスピーディです。

《このような方に》

- ワックスのような水弾きが欲しい
- ガレージ保管の方
- 洗車を定期的にされる方
- 淡色車の方



Valueバリュー

Standardスタンダード

Premiumプレミアム

SuperPremiumスーパープレミアム

コーティングの耐久性を重視したい！

アペックス・スーパーハイドログラス



3層タイプ

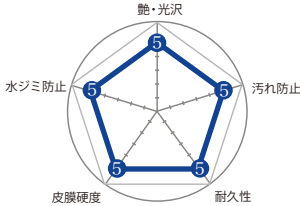
高硬化型ガラス系

- 親水性タイプ
- 高硬化型ガラス系
- 5年サポート

一般的なコーティングの約15倍硬い石英ガラスに転化するコート剤を使用。エアブラッシュ工法で細部まで塗布するため、緊密な光沢感を生み出します。油汚れを寄せ付けない優れた防汚性と高い耐候性、硬い皮膜による耐摩擦傷性など、コーティングに求められる性能を高次元で実現。紫外線劣化のない本物のガラス膜は、圧倒的な耐久力を誇ります。

《このような方に》

- 長期的な耐久性が欲しい
- 最高の艶・輝きを求めたい
- ウォータースポットが気になる
- 濃色車・淡色車の方



Valueバリュー

Standardスタンダード

Premiumプレミアム

SuperPremiumスーパープレミアム

ワックスのような水弾きを持続させたい！

アペックス・スーパードロップガラス



3層タイプ

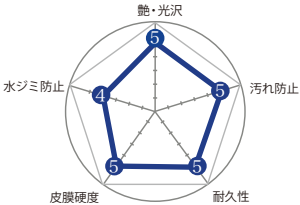
高硬化型ガラス系

- 超撥水性タイプ
- 高硬化型ガラス系
- 5年サポート

最高品質の光沢感が得られるガラス系コーティング。タイルのように滑らかで緻密なセラミックのベースコートに、化学的に反応結合させたトップコートを重ねた2層コーティングは、他に類を見ない高レベルな超撥水性、防汚性、耐摩擦性を発揮。安定的に定着した被膜は耐久性にも優れ、長年に渡って高い水弾き効果を実感できます。

《このような方に》

- 耐久性・艶・輝き・防汚性とも最高を求めたい
- できるだけ拭き傷を防止したい
- ワックスのような水弾きが好き
- 淡色車の方



Valueバリュー

Standardスタンダード

Premiumプレミアム

SuperPremiumスーパープレミアム

劣化した塗装を美しい状態に戻したい！

アペックス・アドバンテージクリア



3層タイプ

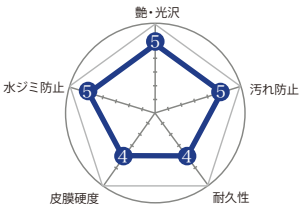
高硬化型樹脂系

- 親水性タイプ
- 高硬化型樹脂系
- 5年サポート

下地調整後、塗装面のダメージ層を自動車用塗料と同じ高品位クリア樹脂で補充。高耐スリクリア樹脂と耐スリフッ素クリア樹脂によるコーティングは、自然な光沢と厚みのある皮膜感が特徴です。再施工時は研磨しなくてもコーティングの上塗りでキズ埋め効果が得られるので、リーズナブルな価格で質感あふれる艶を維持できます。

《このような方に》

- 擦りキズが気になる
- 劣化した塗装を美しい状態に戻したい
- 黒のソリッドカラーの方
- ワックスのようなツルツル感が欲しい



Valueバリュー

Standardスタンダード

Premiumプレミアム

SuperPremiumスーパープレミアム

究極のツヤと光沢を味わいたい！

アペックス・匠ハイモースバリアガラス

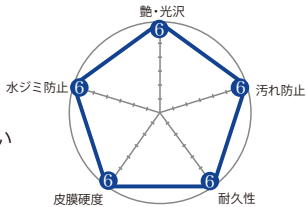


- 超撥水性タイプ
- 高硬化型セラミック系
- 5年サポート

3Dセラミックマトリックス分子構造の薬剤を多層コートすることにより、強化ガラスと同等の9Hのモース硬度を実現した画期的なコーティング。薄く強力なセラミック皮膜が、長期間に渡って塗装保護、コート剤塗布を最大5回繰り返し、Wヒーティングによる焼き付け乾燥を行うことで、高質の皮膜を安定的に定着させていき高い耐擦傷性、耐薬品性、耐紫外線、および耐熱性を誇り、撥水性も驚異的。水がビーズ状になってホコリや汚れとともに転がり洗車のみで簡単に美しさを維持でき、さらにコーティングに求められる最高性能が長期間期待できます。

《このような方に》

- 出来る限り洗車キズを防止したい
- 既存のコーティングではもの足りない
- ガラスコーティング以上の深い光沢が欲しい
- 簡単な洗車で美しさを保ちたい
- 効果の長持ちするコーティングが理想
- 淡色車・濃色車の方

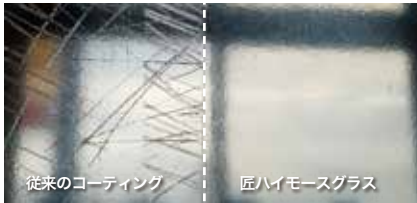


耐スリキズ性に優れた「匠ハイモースバリアガラス」は、当社の環境設備と独自の施工方法により商品化が実現した“最先端のコーティング”です。

スクラッチ耐傷テスト



従来のコーティングと比較した「耐スリ傷性テスト」



防汚性テスト



油性の汚れに対する防汚性効果も優れています

プレミアム及びスーパープレミアムコーティングのみの特殊工法

スプレーガンによるコート剤塗布で細部に至るまで高密度の保護膜を施します。

エアブラッシュ工法

プレミアムおよびスーパープレミアムクラスは、フロントグリル周辺やドアヒンジ、トランクフード周りなどの手塗りでは届かない細かな部分まで均一なコーティングを施すため、スプレーガンでコート剤を吹き付け塗布を行います。特に、最近流行のハニカムグリルの車両などには非常に効果的な塗布方法です。同様にホイールのコーティングにおいても、エアブラッシュ工法を用いて、メッシュ状のホイールやボトル穴などの細部にも均一に塗布を行っています。

